

掛川市茶振興計画中間見直し

生産者アンケート結果

～基本集計編～

【調査時期】 令和3年9月

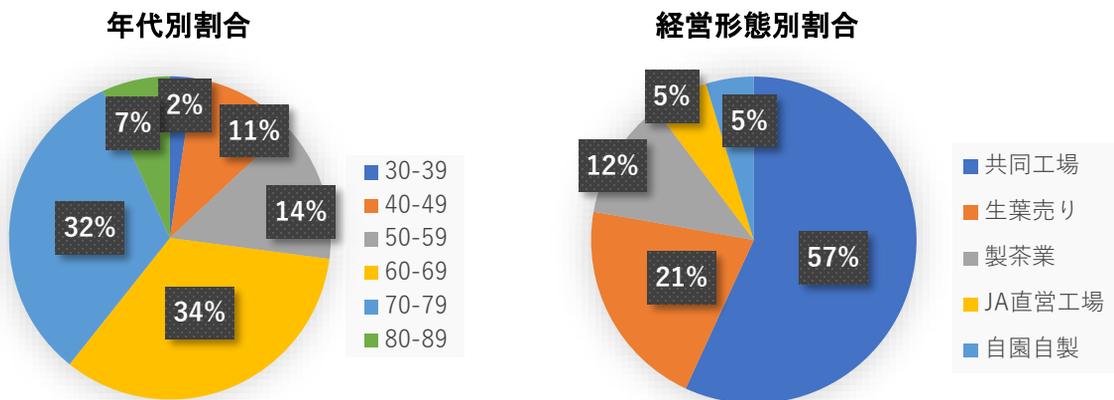
【配布数】 516

【回収数】 380

【回収率】 74%

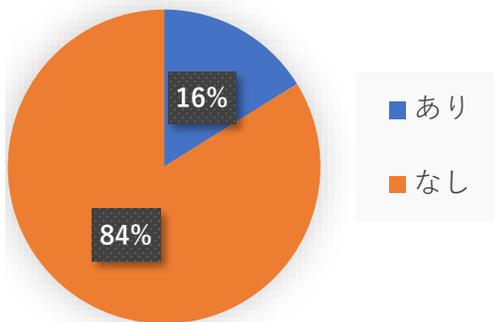
1 経営主、経営形態について

- (1) 平均年齢 64.4歳
(2) 最高年齢88歳 最少年齢32歳 (回答数336/380)



2 農業従事者について

- (1) 農業従事者（家族従事者） 2.01（人）
(2) 後継者の有無



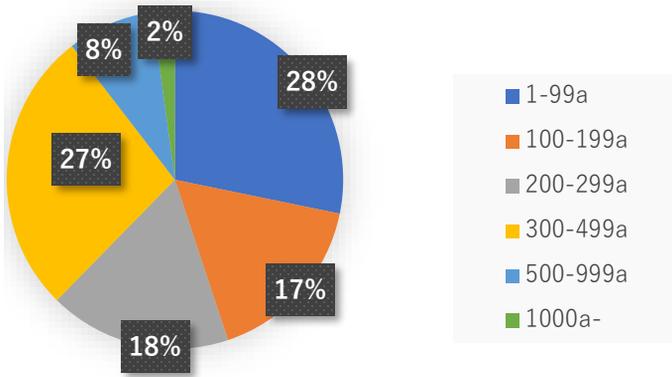
- (3) 常時・臨時雇用
常時雇用 2.86（人）
臨時雇用 2.53（人）

3 経営面積について

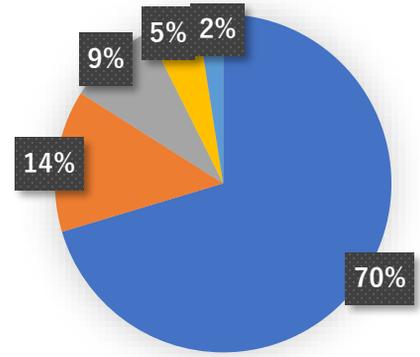
- (1) 茶園経営面積
合計面積 1,001 ha (所有地432 ha / 借地546 ha)
うち乗用型摘採面積 895 ha (89%) うち市外面積 76 ha (8%)

※未記入者もいるため合計が合わない場合があります。

経営面積別割合

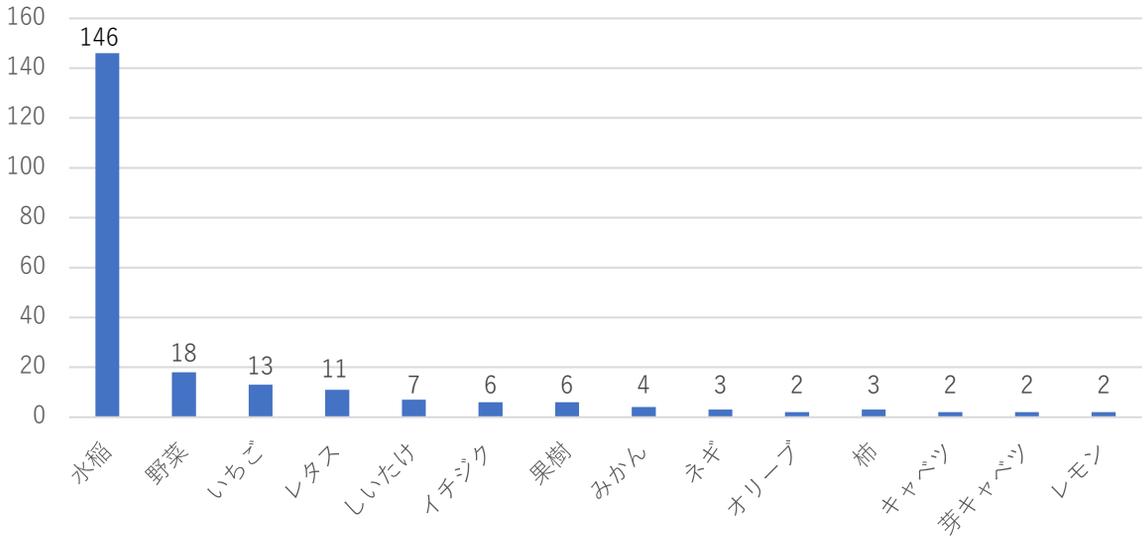


市外面積割合



(2) 1経営体当たりの適正な経営面積（平均値） 350.7 (a)

(3) その他の作物の生産者数

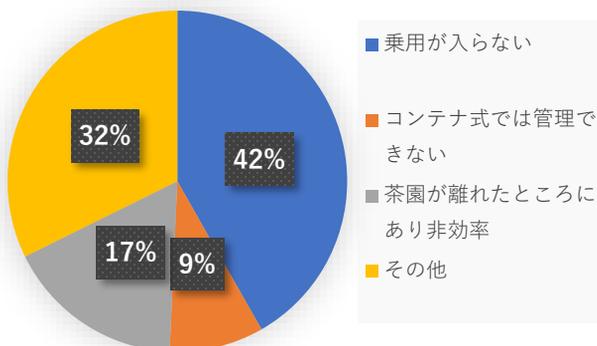


4 耕作放棄茶園について

(1) 耕作放棄茶園面積 5,136 a（回答数174/380）

(2) 5年以内に耕作放棄になりそうな茶園面積 9,065 a（回答数194/380）

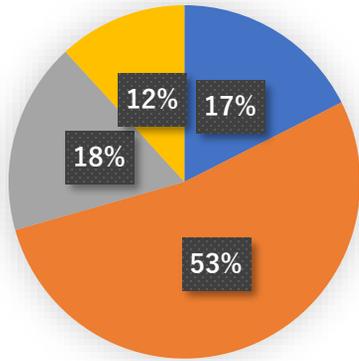
(3) 耕作放棄地になっている要因・理由



「その他」の主な回答

- ・乗用は入るが茶園形状が悪く急傾斜地であるため危険
- ・周囲が草地のためササが入り込み管理が追い付かない
- ・管理しても収益が上がらず採算が合わない
- ・後継者不在、年齢、体力的問題
- ・獣害による法面崩れ等

(4) 耕作放棄地をどのようにしたいと考えますか？



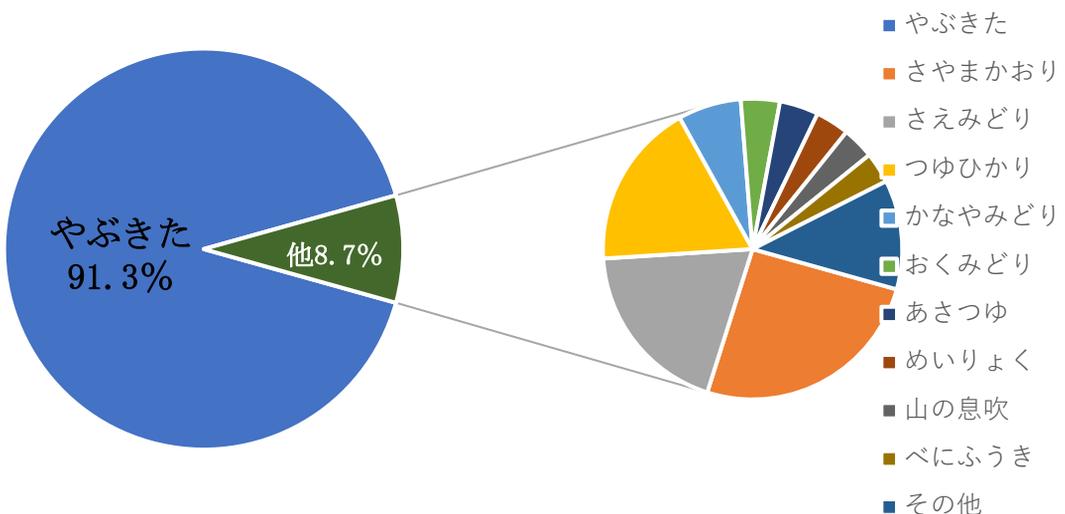
「その他」の主な回答

- ・地主にかえす
- ・太陽光発電設置
- ・売却（管理できなたいため）
- ・できる限り管理するが、管理できなくなれば放棄

5 乗用型茶園管理機の所有台数について

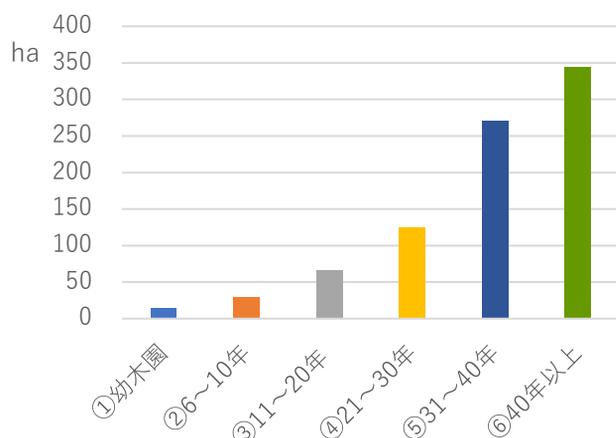
機械種類	乗用型摘採機 (袋交換式)	乗用型摘採機 (コンテナ式)	乗用型 防除機	乗用型 施肥深耕機	乗用型 中刈機
個人所有	合計 294 台	合計 80 台	合計 37 台	合計 11 台	合計 29 台
	回答 261 人	回答 75 人	回答 36 人	回答 11 人	回答 29 人
	平均 1.126 台	平均 1.067 台	平均 1.028 台	平均 1 台	平均 1 台
共同所有	45 台	6 台	9 台	11 台	49 台
	125 人	6 人	19 人	34 人	313 人
	台当たり共同人数 2.78 人	台当たり共同人数 1.00 人	台当たり共同人数 2.11 人	台当たり共同人数 3.09 人	台当たり共同人数 6.39 人

6 茶栽培品種について

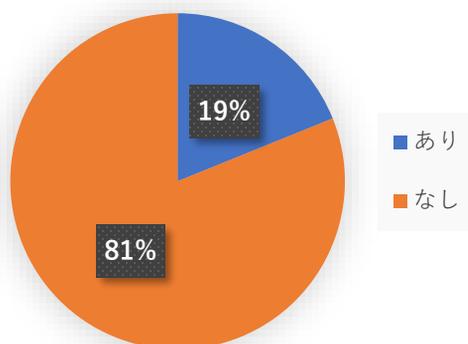


7 茶園改植の実施状況について

(1) 樹齢別茶園面積



(2) 改植の意向



(3) 改植を行う上での課題や提案

【課題】

- ・現在の茶価では、改植に見合った利益が得られる見込みがない。
- ・傾斜地のため作業が困難。除草が大変。
- ・改植期間中（幼木期間）に収入が見込めない。
- ・改植に手間と費用が掛かりすぎる。

【提案】

- ・小規模経営者にも補助事業の情報が届くようにしてほしい。
- ・代替地の用意等で計画的な改植の実施
- ・改植中の収入補填や苗代・重機レンタル代等の補助改植応援隊の組織化
- ・やぶきた品種以外の導入

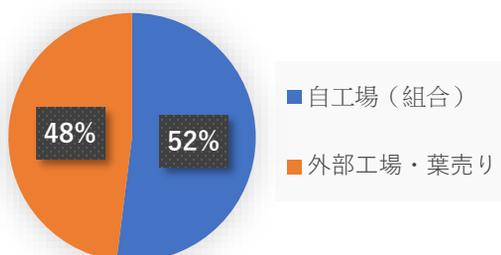
8 被覆栽培の実施状況について

(1) 被覆栽培面積 2,157.3 (a) (回答数 75/380)

9 てん茶製造の取り組みについて

(1) てん茶用茶園面積 2,192.7 (a) (回答数21/380)

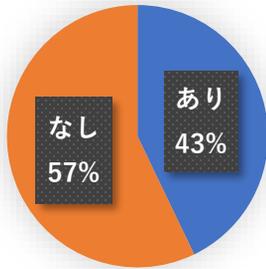
(2) てん茶製造場所



10 有機栽培の取り組み状況について

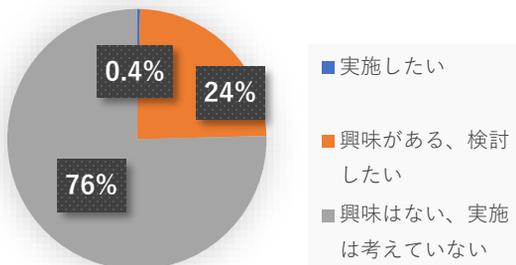
(1) 有機栽培面積 1,630 (a) (回答数22/380)

(2) 有機栽培拡大の意向



拡大面積合計 723 (a) (回答数9/21)

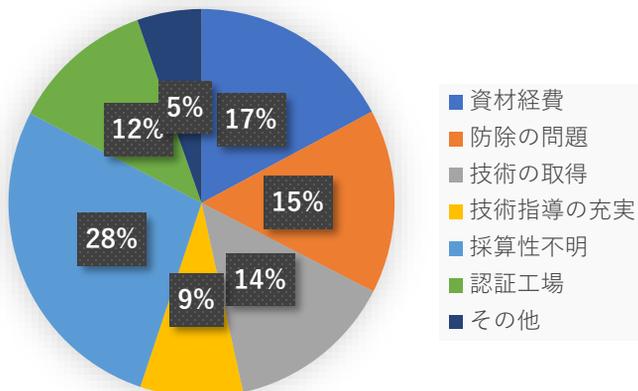
(3) 有機栽培についての考え



「興味はない、実施は考えていない」の主な理由

- ・品質の低下
- ・後継者不在、年齢、体力的問題
- ・手間が掛かるわりに採算性が不明
- ・荒茶販売先からの要望がなく実施する理由がない
- ・病害虫の問題、周囲の慣行茶園に迷惑をかける
- ・知識がない

(4) 有機栽培を実施、拡大するうえでの課題



「その他」の主な課題

- ・栽培にかかる経費や時間と採算性のバランス
- ・防除や除草が大変
- ・やぶきた以外の病害虫に強い品種に改植する必要がある

11 耕作をやめた茶園に対する提案 (飛び地での非効率な茶園管理、茶園集積等)

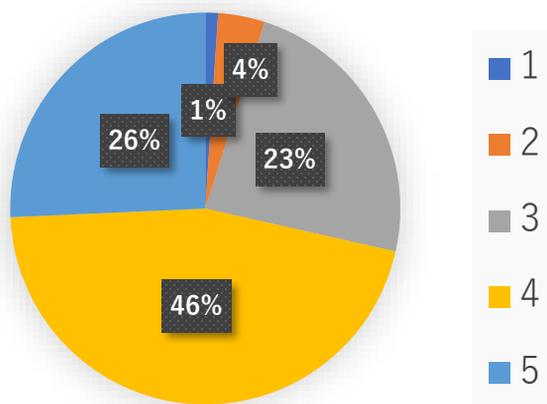
- 助成を出す。行政や農協が耕作放棄茶園をまとめ、造成する。
→補助事業化
- 中心的人物や組織に集約させる。手放す/借りる人をつなげる仕組みづくり
→組織化
- 野菜を作る。山に返す。
→転換
- 利益が上がる茶業にすれば、やる人が増える。
→茶価の上昇
- 地権者と生産者間の仲介者を設置
→地権者との調整
- 農道確保・機械化
→ハード整備

12 現在の経営状況について

(1) 経営状況について

※1...良い・安定している

5...悪い・直ぐにでも茶業をやめたい



(2) 一反当たりの売上、経費、収入 (平均値)

売上 240,870円

経費 163,637円

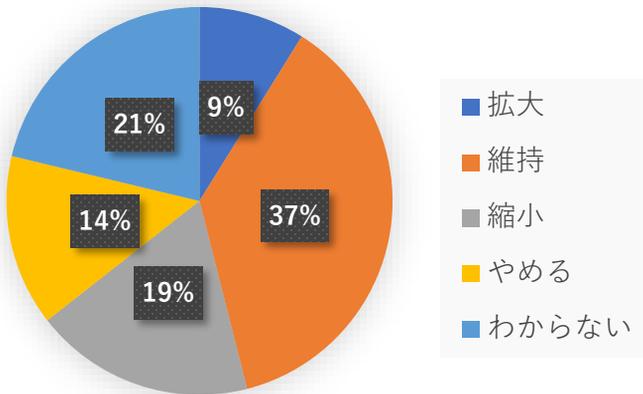
収入 77,071円 ※それぞれ全体の平均値

(3) 一反当たりの理想の売上 (平均値)

売上 361,150円

13 5年後、10年後の経営状況見込みについて

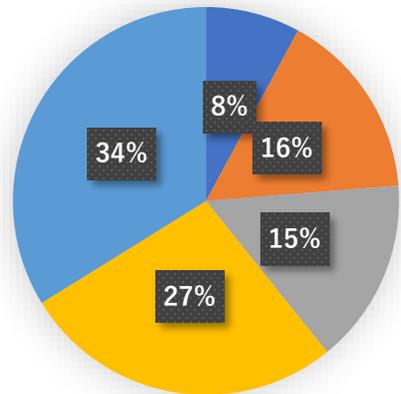
【5年後】



拡大 6,925a
縮小 3,635a
離農 5,898a

差引 ▲2,608a

【10年後】



拡大 10,820a
縮小 3,737a
離農 11,749a

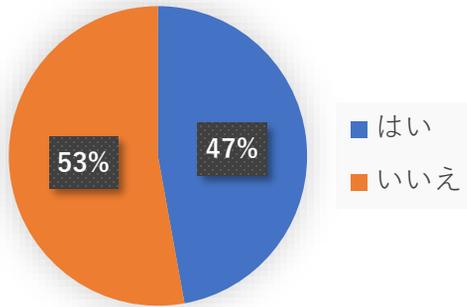
差引 ▲4,666a

14 収益を向上させるために取り組んできたこと

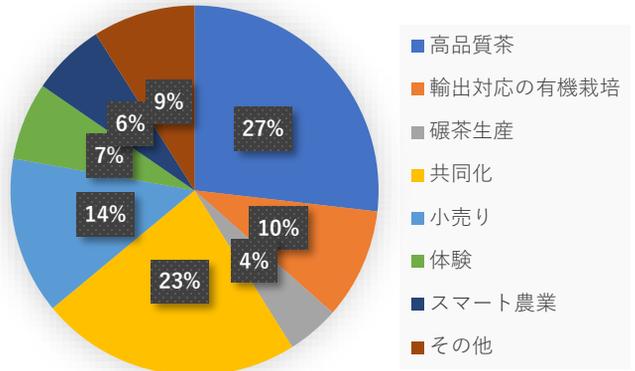
- GAP認証の取得・共同化・圃場整備。
→環境整備
- 被覆栽培。栽培計画の見直し。品種別製造
→品質向上
- 他作物の栽培・転換
→複合経営
- ホームページ作成。小売り拡大。輸出対策。茶商のニーズに対応
→販売促進
- てん茶生産
→新技術導入

15・16 新たなことへの挑戦について

新たなことにチャレンジして
いきたいと思いませんか？



どのようなことにチャレンジして
いくべきだと思いますか？



17 行政や農協との協同による将来ビジョンの検討について

行政や農協などと協力して、将来ビジョンについて
検討・協議していきたいと思いませんか？

